

※一部非公開

令和四年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、設問は二問ある。それぞれ指定された面に解答すること。
- 四、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 五、解答時間は、一二〇分である。
- 六、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

次の文章は、人間が相互依存のうちに自由に生きる「自立共生」コンツイウイアアソクの理想を主張する著者が、それを疎外する脅威のひとつとして「根元的独占」について説明している箇所である。この文章を読んで、以下の各問に答えよ。

問一 著者の定義する「根元的独占」とは何か。文章中の言葉を用いながら説明せよ（四〇〇字以上六〇〇字以内）。

問二 著者は、「根元的独占」について、車、学校、葬儀屋を事例に挙げて説明している。あなたが考える「根元的独占」の事例とは何か、具体例を挙げて、なぜそう考えるのか説明せよ（四〇〇字以上六〇〇字以内）。

非公開

非公開

非公開

非公開

(イヴァン・イリイチ、『コンヴァイヴァリテイのための道具』、渡辺京二・渡辺梨佐訳、筑摩書房、二〇一五年、一一四～一二九ページ、抜
粋・一部改変)

令和四年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文の出題の意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で必要な理解力・考察力・論理的思考力・記述力をどの程度持っているかを見ることにある。

問一は、自立共生社会の理想に対し、その阻害要因となる社会的現象について析出した文章を読んで理解し、その定義を的確に抽出させる問題である。これは、本学科のアドミッション・ポリシーである、社会科学を学ぶための基礎学力、社会情勢を広く認識し論理的に説明する力を持つているのかを問う出題である。

問二は、著者の主張を正確に理解した上で、定義に当てはまる別の事例を自ら考えて提示し、説得的に説明することを求めている。これは本学科のアドミッション・ポリシーである、人間社会や社会科学への深い関心と柔軟な思考力を有し、社会の諸問題に対して主体的に学ぶ姿勢を有しているのかを問う出題となっている。